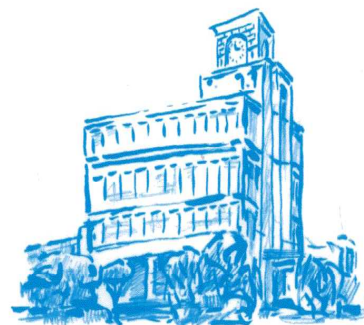


道徳教育の大切さとは

伊丹市立総合教育センター
所長 太田 洋子

次期学習指導要領の先行実施として、小学校では今年度から教科書を使った「道徳科」の授業がスタートしました。中学校は来年度からになります。広辞苑で「道徳」を調べると次のように表記されています。

【道徳】人のふみ行ふべき道。ある社会で、その成員の社会に対する、あるいは成員相互間の行為の善悪を判断する基準として、一般に承認されている規範の総体。法律のようは外面的強制力を伴うものではなく、個人の内面的な原理。



広辞苑にある、「法は外面的強制力、道徳は個人の内面的な原理」という言葉が道徳教育の崇高な部分を表すと同時に、その難しさも示しています。

人がこの世に生まれ、まず受けるのは教育の原点である家庭教育です。「靴をそろえなさい」「おもちゃを片付けなさい」から始まり、「人の悪口を言ってはいけません」「近所の人に挨拶をなさい」と時にはうるさく思いつつも、親になったときに、同じことを我が子に言っている自分に気づくことがあります。その基盤の上に学校における道徳教育があるのです。

しかし、成人式やハロウィンでの若者の暴走行為等をマスコミの報道で目にするたびに、「何がいけなくてこのような若者が生まれたのか」と教育の在り方を振り返ることもあります。ただそのことを悲観するだけではなく、こういう時代だからこそ、学校における道徳教育を大切にしていかなければいけないとあらためて思うのです。

学校における道徳教育は人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性の育成を目指すものです。もちろん、日々子どもたちへの声かけや先生の何気ない一言で育まれる道徳性があります。しかし、学校においては、道徳科の授業を要として、教科や特別活動等、すべての教育活動において子どもたちの道徳性を育てなければいけないという使命が与えられています。そのために、何をしないといけないのでしょうか。

まず、学校のすべての教育活動を道徳の観点から見直し、全体計画を作ります。そして、各教科や総合的な学習の時間、特別活動との関連を考慮しながら道徳科の年間指導計画を作成します。道徳教育推進教師を中心に教員全員が力を合わせて作成することで共通理解が図られます。時には地域や保護者の協力を得ることも効果的です。その後、ローテーション授業等を取り入れながら、道徳科の授業研究を積むことで、授業力の向上を目指してください。ねらいが明確な授業ができるようになれば、適切な評価も可能になると思います。学校における道徳教育は一朝一夕には完成しません。地道な取り組みを根気強く続けるしかないのです。

考え 議論する 議道 徳業 授業づくり

総合教育センター教育フォーラム
 講演 四天王寺大学 杉中 康平 准教授
 <平成31年(2019年)1月31日(木)>



読みものの教材の場面わけ

誰の視点で場面分けするか？
 視点がぶれないことが大切

道徳的に最も大きく変化した
 人物の視点で読んでいく
 (=道徳上の「主人公」を探す)

Before-Afterで考えてみる

Before: 道徳的な変化をする前の主人公の姿
(助言者)の登場

After : 道徳的な変化をした後の主人公の姿
「主人公」は、この物語で、結局

- ① 何に気づいたのか？
- ② なぜ、気づいたのか？
- ③ その結果、**どのように変化したのか？**
 (=「価値」を自覚したのか?)

道徳の内容項目について

- ① まず、授業者がしっかりと
 「内容項目」について学ぶこと
 ※「学習指導要領」及び「解説」を
 しっかりと読み込む
 ※全学年⇒当該学年⇒教材との関連
- ② 授業の「ねらい」として
 何を学ばせるか
 ※「主人公の生き様」を通して、子ども
 たちに何を学ばせるのか？

「3つの発問」 で価値に迫る

- ① Beforeの発問
 (≡内容理解の発問)
 (道徳的問題を明らかにする)
- ② Afterの発問
 (≡中心発問)
 (主人公の気づきに迫る)
- ③ 価値追求の発問
 (≡まとめの発問)
 (主人公の気づきに迫る)

☆ さらに価値を深めるために
 必要な補助発問の工夫を!! (あれば)

例: 小学1年教材
 「はしのうえのおおかみ」
 (杉中准教授案)

導入: 「一本橋」を
 知っていますか?

「えへん、えへん」といって橋を
 渡っているとき、おおかみは
 どんなことを思っていたでしょう?

おおかみはいつまでもいつまでも
 くまさんの後ろ姿を見送りながら、
 どんなことを思っているのでしょうか?

今日の授業で思ったこと、
 気づいたことを書きましょう!

補助発問
 くまさんは、どうしてこんなことを
 してくれたのだろう?

道徳の教材分析について

※国語の読解のような詳細な読みは不必要
 教材を**大きな意味で捉え**、
 そこから**生き方を考える**

「一文読み」(=要約)をする
 (=結局、この話はどんな話なのか?)
 ※要約は、大事な**3要素**を欠かしてはいけない

主人公+助言者+内容項目

例: 小学1年教材 「はしのうえのおおかみ」
「おおかみ」が、くまさんと出会い、
やさしくなれた」話

